

ミラノ・コルティナ2026 冬季オリンピック・パラリンピック 安全リーフレット

この冊子は、大会に際してイタリアにお越しの方に知っておいていただきたい安全に関する情報をまとめたものです。

当館のホームページにも同じ内容が掲載されていますが、スマートフォンが見られない状況もあり得ますので、「お守り」代わりに印刷してお持ちください。



在ミラノ日本国総領事館

当館特設サイト



大会概要



【都市部・山岳部で分散開催】

今大会の競技は、北イタリアの4つのエリア（ミラノ、コルティナ、ヴァルテッリーナ、ヴァル・ディ・フィエンメ）で広範囲に分散開催されるのが特徴です。

【交通・移動】

各エリア間の移動には長時間をするため、日帰りで複数エリアを巡ることは困難です。

大会期間中は、個人車両の乗り入れ制限や交通規制が実施される見込みで、公共交通機関やシャトルバスの利用が推奨されています。

チケット購入者向けに、大会公式HP・アプリで各会場の交通案内やシャトルバス運行情報が提供され、随時更新される予定ですので、ご確認ください。

（※一部の情報は英語・イタリア語のみ閲覧可能です）

悪天候やストライキによる遅延の可能性があることから、時間に余裕を持った移動計画を立てることをお勧めします。



大会公式HP



大会公式アプリ

会場の位置関係



2 防犯対策



【現状】

イタリアでは観光客を狙うスリ・置き引きなどの犯罪が多発しており、日本人の被害も後を絶ちません。大会期間中は、世界中から多くの観客が訪れ、混在が予想されるため、特に注意が必要です。

また、深夜・早朝の外出は、高級腕時計やネックレスなどを狙った路上強盗等犯罪被害のリスクが高まることから、お控えください。

【手口・危険箇所】

- ・集団スリ：女性や未成年者を含む3～4人のグループが多い。地下鉄（特に階段付近の車両、ドア付近）、バス、駅構内、観光地周辺で取り囲む。
- ・道具を使うスリ：上着・新聞紙で手元を隠す。地図・スマホで道聞きをして注意を逸らす。
- ・親切やハプニングを装うスリ：「荷物を持ってあげる」「ファスナーが開いている」と話し掛ける。コインを落とす、ジェラート・ケチャップをつける、偽喧嘩をするなどして注意を逸らす。
- ・置き引き危険箇所：レストラン、ホテル、長距離列車内、空港

【対策】

- ・パスポートや財布等の貴重品は、他者が取り出しにくい場所に分散して携帯する。
- ・リュックなどのバッグは体の前側に抱える。
- ・電車の網棚や座席、レストランの席にバッグを放置しない。
- ・イヤホンやスマートフォンを利用しながら歩かない。
- ・高価な腕時計やネックレス等の装飾品は身につけない。
- ・やむを得ず夜間・早朝に外出する際は、タクシーを利用する。

【事前準備】

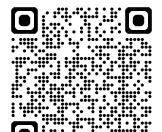
- ・外務省安全情報メールサービス「たびレジ」への登録、「海外安全虎の巻」、ゴルゴ13の「安全海外対策マニュアル」の確認
- ・戸籍謄本の持参または戸籍電子証明書提供用識別符号の取得
- ・パスポートのコピー、各種カード情報の控え
- ・イタリア緊急通報アプリ「112 Where ARE U」のダウンロード（※一部地域は利用不可）



たびレジ



海外安全
虎の巻



海外安全対策
マニュアル



112アプリ
iPhone版



112アプリ
Android版

3 犯罪被害に遭った場合



【対応】

- ・無理に抵抗せず、安全を最優先に行動する。
- ・緊急の場合は、直ちに112番へ通報する。
- ・カード類を盗まれた場合は、速やかにカード会社へ連絡して無効化する。
- ・警察署で紛失・盗難届出書を取得する。

【パスポートの紛失・盗難時】

総領事館または大使館で「帰国のための渡航書」または「緊急旅券」の発給手続きが必要です。

◇必要書類

- 1 紛失一般旅券等届出書（窓口で配布）
- 2 渡航書または緊急旅券の発給申請書（窓口で配布）
- 3 警察署発行の盗難・紛失届出書（原本を提示）
- 4 証明写真2枚（6ヶ月以内撮影、縦45mm×横35mm）
　　パスポート用写真の規格
- 5 戸籍謄本（6ヶ月以内発行）または
　　戸籍電子証明提供用識別符号（3ヶ月以内取得）
※ 戸籍電子証明提供用識別符号とは、マイナポータル
（無料）または各市町村役場窓口（有料）で取得できる
16桁の数字（有効期限3ヶ月）のこと



パスポートを所持せずに外国へ移動することは危険です！

イタリア滞在中にパスポートを紛失・盗難されたにもかかわらず、旅程の都合で上記発給手続きをせずに、隣国へ越境してしまう方がいますが、絶対に行わないでください。

シェンゲン協定加盟国では、同域内での入国審査が簡素化される傾向がありますが、パスポートを所持していない自由に往来できるわけではありません。

入国審査でパスポートの不所持が発覚した場合、入国拒否や、最悪の場合、同国官憲に身柄を拘束されるおそれがあります。

たとえ旅程に変更が生じるとしても、パスポートを所持していない状態で同域内を往来することは絶対に避けてください。

4 テロ・暴動対策



【現状】

イタリアでは近年、組織的大規模テロ事件は発生していませんが、テロ組織へ参加したり共鳴した者が多数摘発されており、潜在的なテロのリスクは排除できません。治安当局は高いレベルでの警戒を継続しています。

また、不安定な中東情勢を受け、デモが頻繁に行われており、一部参加者が暴徒化し、多数の負傷者や逮捕者がいる事態に発展したケースもあります。

【対策】

大会開催により多くの人が集まり、注目度も増すため、テロや暴動のリスクが高まる要因となります。大会期間中はイタリア治安当局による厳重な警戒が実施されますが、最新の情報を確認し、リスクの高まりが見られる場合には、テロの標的となり得る施設（宗教関連施設、歴史的建造物等）には近づかないようしてください。

また、人混みで不審な動きをする人物や不審車両に十分注意を払い、デモに遭遇した場合は、速やかに離れるよう心掛けてください。

5 医療



【医療事情・対応】

イタリアの医療水準は日本と同等で、主要都市には24時間対応の民間クリニックもあり、電話で相談すれば、当日受診できる場合もあります。

重い病気やけがなどの緊急時は、救急車等で公立病院の救急室(Pronto Soccorso)を受診することとなります。緊急度が低い場合は待ち時間が長くなることがあります。

英語を話す医療スタッフも増えているものの、基本はイタリア語での対応となります。医療通訳が必要な場合は、在外公館から案内を受けることも可能です。

【保険】

出国前に海外旅行傷害保険に加入しておくことを強くお勧めします。事故や病気の際は、提携アシスタンス会社に連絡すれば日本語でサポートが受けられます。保険証書と身分証は常に携帯してください。

6 観戦時の注意



【入場・手荷物制限】

会場では入場時に手荷物検査等のセキュリティチェックが行われます。混雑を見越し、早めに到着することが推奨されます。

○ 制限物品

刃物、火器、瓶、液体物、飲料類、ドローン、長い傘、大きな荷物、スーツケースなど
(※詳細は公式サイトの各会場ページを参照)



【通信環境】

会場周辺や山岳地域では通信が混雑・不安定になる可能性があり、低温によりバッテリー消費も早くなります。

入場はチケットアプリに表示されるデジタルチケットのみ有効で、スクリーンショットや印刷したものは無効とされているため、スマートフォンは十分に充電し、モバイルバッテリーを持参することが推奨されます。また、地図アプリ等、必要な情報は事前にオフライン保存しておくと安心です。

【防寒・標高差対策】

山岳会場では、標高が1,000mを超え、最低気温は-10°C以下となる地域もあります。天候（雪・風・日差し）が急変しやすく、スケジュール変更等により長時間屋外で待機したり、観戦エリアまで雪上の傾斜地を歩く場合もあるため、十分な防寒対策が必要です。

○ 推奨される服装・所持品

- ・防水防風アウター、中間着、速乾性インナー、防水性と保温性のあるズボン、防水性と防滑性のある靴
- ・帽子、手袋、ネックウォーマー（マフラー）、サングラス
- ・日焼け止め、携帯カイロ、予備靴下

【体調管理】

高地では息苦しさや頭痛などの症状が出る場合があります。無理をせずこまめに休憩を取り、水分補給や防寒に配慮してください。

会場内で体調が悪くなった場合は、近くのスタッフ（ボランティア・係員）に知らせてください。

風邪薬、胃腸薬、頭痛薬、絆創膏等普段使いの薬は、現地調達が難しいこともあるため、日本から必要量を持参するのが安心です。



7 各種連絡先

【在外公館】

○ 在ミラノ日本国総領事館

～北イタリア（エミリア＝ロマーニャ州（州都ボローニヤ）
を含む北部8州）を管轄 ※今大会の全会場が管轄地域内
(+39) 02-624114

Via Priv. Cesare Mangilli 2/4, 20121 Milano

○ 在イタリア日本国大使館

～上記以外の中・南部イタリアを管轄
(+39) 06-487991

Via Quintino Sella 60, 00187 Roma

※ イタリア国外から電話をかける場合：国番号39+国内電話番号
(市外局番「0」を含む)

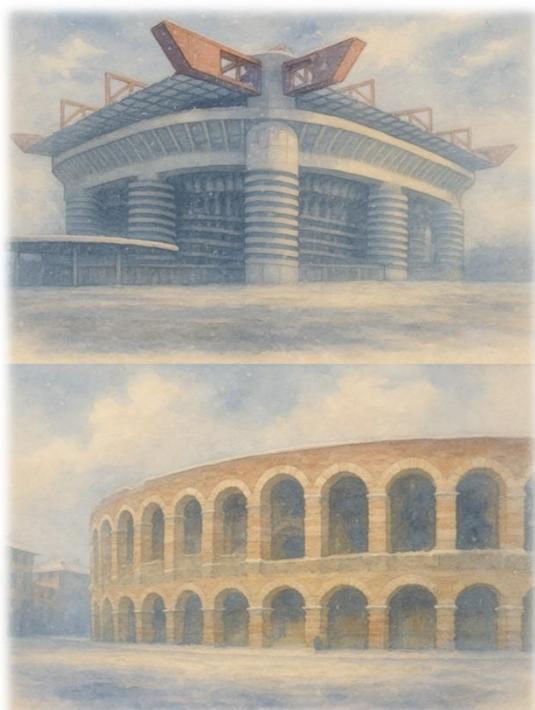
【緊急通報】

○ EU共通緊急通報番号：112（警察、救急、消防共通）

- ・EU域内では112に電話すれば、必要な機関につながります
- ・「112 Where ARE U」アプリの利用推奨（位置情報自動送信）
※一部地域は利用不可です。

○ 個別番号

- ・国家警察：113
- ・軍警察：112（EU共通番号と同一番号）
- ・消防：115
- ・救急：118
- ・自動車緊急支援：116



【主なクレジットカード会社】

○ VISA : 800-784-253

○ Mastercard : 800-870-866

○ JCB : 800-780-285

○ Diners Club : +81-3-6770-2796

○ American Express

- ・一般カード : 800-871-981
- ・ゴールドカード : 800-871-972
- ・ミラノオフィス : +39-02-34981
- ・東京オフィス : +81-3-3220-6100

【日伊通訳翻訳協会】

<https://www.aitig.it/main/jp/>



日伊通訳翻訳協会HP

8 緊急時のイタリア語



日本語	イタリア語	発音
助けて！	Aiuto!	アイウート
泥棒！	Al ladro!	アル ラードロ
警察を呼んでください	Chiami la polizia, per favore!	キアーミ ラ ポリツィア ペル ファヴォーレ
警察署はどこですか	Dov'è la questura?	ドヴェ ラ クエストゥーラ
～を盗されました	Mi hanno rubato ~.	ミ アンノ ルバート ~
～をなくしました	Ho perso ~.	オ ペルソ ~
財布	portafoglio	ポルタフォッリョ
パスポート	passaporto	パッサポルト
クレジットカード	carta di credito	カルタ ディ クレーデイト
交通事故に遭いました	Ho avuto un incidente.	オ アヴート ウン インチデンテ
気分が悪いです	Mi sento male.	ミ セント マーレ
熱があります	Ho la febbre.	オ ラ フェッブレ
息が苦しいです	Ho difficoltà a respirare.	オ ディッフィコルタ ア レスピラーレ
吐き気がします	Mi viene la nausea.	ミ ヴィエーネ ラ ナウゼア
ここが痛いです	Mi fa male qui.	ミ ファ マーレ クイ
救急車を呼んでください	Chiami un'ambulanza, per favore!	キアーミ ウナンブランツァ
医師	medico	メディコ
病院	ospedale	オスペダーレ
薬	medicina	メディチーナ